

# 小山市学校適正配置等に関する提言書

平成26年1月

小山市学校適正配置等検討懇話会

# 提言にあたって

現在、我が国の学校教育においては、これからの社会が、いかに変化しようとも、主体的に「未来を切り拓いていく」ことのできる、心豊かで逞しい子どもたちの育成が求められています。

近年、小山市における教育環境については、全国的な傾向と同じく少子化の影響下にあり、全市的に児童生徒数が減少している中、学校の小規模化が問題となっている地域がある一方で、宅地開発等の市街化が進行し、児童生徒数の増加によって学校の大規模化が問題となっている地域があるなど、様々な変化の中にあります。

また、小中学校の校舎等の多くは、建設後の経過年数が30年を超え、今後改築を検討しなければならない時期を迎えることとなり、学校をとりまく教育環境の変化への対応が今、求められているといえるでしょう。

小山市においては、「子どもの瞳輝く学校づくり」、「子どもの笑顔があふれる学校づくり」、そして「元気なあいさつが響く学校づくり」をスローガンに掲げ、「確かな学力の保証」、及び「心の教育の充実」という教育方針のもと、その目標実現に向けて鋭意努力しているところですが、そのためにも、先に述べた背景のもと、学校規模の適正化が重要な課題となっております。

このような中、本懇話会では、平成24年1月から平成25年12月にかけて12回の検討懇話会を開催し、子どもたちのより良い学習環境を整備していくという「教育的な視点」、及び、市と市民が協働して取り組んでいくという「地域とともにある学校としての視点」から、全市的な学校規模や配置の適正化に向けた検討・協議を行い、ここに提言書としてとりまとめることができました。

何より、小山市の教育目標実現の一助となる学校適正配置等について、この提言とりまとめの過程と趣旨・内容を十分理解された上で、その実現化を進めていただきたいと思えます。

改めて、明日を担う子どもたちのために、小山市の目指す教育方針が着実に実現され、これからの学校が、時代の変化に対応できる力を確保し、地域とともに進化していく学校となることを願ってやみません。

平成26年1月10日  
小山市学校適正配置等検討懇話会